

宗教文化の授業研究会

本研究会は、現在「宗教と社会」学会のプロジェクト（2010年～）と科学研究費補助金基盤研究（B）「宗教文化教育の教材に関する総合研究」（研究代表：井上順孝・國學院大學）によって運営されている。もともとは2009年に科学研究費補助金基盤研究（A）「大学における宗教文化教育の実質化を図るシステム構築」（研究代表：星野英紀・大正大学）の教材研究の試みとして発足したものである。

2012年度は、東洋文庫ミュージアム、龍谷大学龍谷ミュージアムといった博物館を会場として2度研究会を行ない、教材としての博物館の利用についても議論を行なった。そのほかキリスト教の大学での宗教文化教育の現状や、e-learning教材の紹介、教団見学なども行なった。それぞれの内容を下記に記す。

「宗教文化教育の教材研究会」

【日時】2012年4月15日（日）11時～17時
（研究会は13時～17時）

【場所】東洋文庫ミュージアム

発表者：

宮嶋俊一「宗教学の授業における学問史・学説史の扱いについて」

櫻井義秀「調査志向の宗教社会学—北海道大学の学部・大学院ゼミを事例に2011—」

コメント：寺戸淳子、司会：河野訓

東洋文庫ミュージアムを会場とし、午前中には博物館部分の見学を行ない、メンバーで教材としての可能性を検討した。博物館では、「東インド会社とアジアの海賊」という企画展示が行なわれており、かつての古地図や日本を描いた絵画、またそのほかシーボルトの著作など、貴重な資料が公開されていた。

午後には研究会として、宮嶋氏と櫻井氏が発表を行なった。宮嶋氏は、ヴァイマル期を中心としたドイツ宗教学、宗教思想の専門家である。授業では宗教学の概論の授業を担当している。その際の流れとして、比較宗教学、宗教史、そして各論へと進むよう組み立てていると報告があった。また宗教学の学説や学説史のなかでどのような研究者、概念を取り上げているかを具体例を挙げながら論じた。

櫻井氏は、宗教社会学を中心とする授業を担当しており、それぞれのシラバスや授業構成、前提としていることなどを論じた。そのなかで、自分が学んだ当時の宗教社会学と、現在求められている教育内容の違いや社会調査士という資格取得のことなどが述べられた。



真如苑 総本部

「宗教施設見学会」

【日時】2012年9月21日（金）13時～17時

【場所】立川市 真如苑

新宗教の真如苑の総本部と応現院（いずれも立川市）を見学した。学生は、国学院大学、東京大学、東北大学等から20名ほどが参加した。施設や、施設内での展示の見学を行なった後、真如苑の方々との質疑応答の時間も設けられた。そこで真如苑が東日本大震災で行なったボランティア活動、復興支援活動の内容や反応についての質問があり、宗教の社会貢献、また新宗教の地域との関わりなどについて議論が展開した。

「宗教文化教育の授業研究会」

【日時】12月2日（日）13時半～15時半

【場所】国学院大学学術メディアセンター5階 会議室06

発題者：伊藤悟「青山学院大学でのキリスト

教教育」

伊藤氏は、青山学院大学で宗教部長を務めており、また教育人間科学部の教授でもある。その立場から、青山学院大学でどのようにキリスト教が教えられているのかを科目表を提示しながら紹介した。大学で行なわれるチャペルでの礼拝の参加者や大学のなかでの位置づけ、学生の意識など、広い視点からキリスト教文化教育が行なわれていることなども述べた。

「宗教文化教育の教材研究会」

【日時】2012年12月22日（土）

14：00-16：00

【場所】龍谷大学龍谷ミュージアム1階多目的室

【発表者】

入澤崇「龍谷ミュージアムでの学び—新たな宗教文化教育をめざして—」



龍谷ミュージアム（撮影は2012年5月）

龍谷大学の博物館である龍谷ミュージアムを会場とし、その館長で仏教学科の教授を勤めている入澤氏に発題をいただいた。

龍谷ミュージアムは、実際にさまざまな授業の場として活用されている。入澤氏は専門としているアジアの仏教文化交流史を踏まえ、授業でどういった活用をしているのかを授業内容を再現するような形で詳しく述べた。その後入澤氏の案内でミュージアムを見学し、授業実践の様子を実見した。龍谷ミュージアムは、仏教文化に関する博物館であるが、大谷光瑞による西域調査と深く関わっており、仏教だけではなくさまざまな文化が交差したアジアの文化交流について知ることができるきわめて教育効果の高い博物館であることが確認された。

「宗教文化教育の教材研究会」

【日時】2013年2月28日(木) 午後1時～5時

【場所】國學院大學学術メディアセンター5階 06会議室

【発表者】

井上順孝氏（プロジェクト概要紹介、日本宗教）

井上まどか氏（ユダヤ教）

富澤かな氏（インド宗教）

八木久美子氏（イスラーム）

企業用に作成した宗教文化の e-learning 教材（パワーポイント）の紹介をおこなった。もともと企業で働く人を対象にして作成された教材ではあるが、学生向けにも使用できるものであるとのことであった。研究会では上記四つのテーマについて報告がなされ、質疑応答が行なわれた。（平藤喜久子）